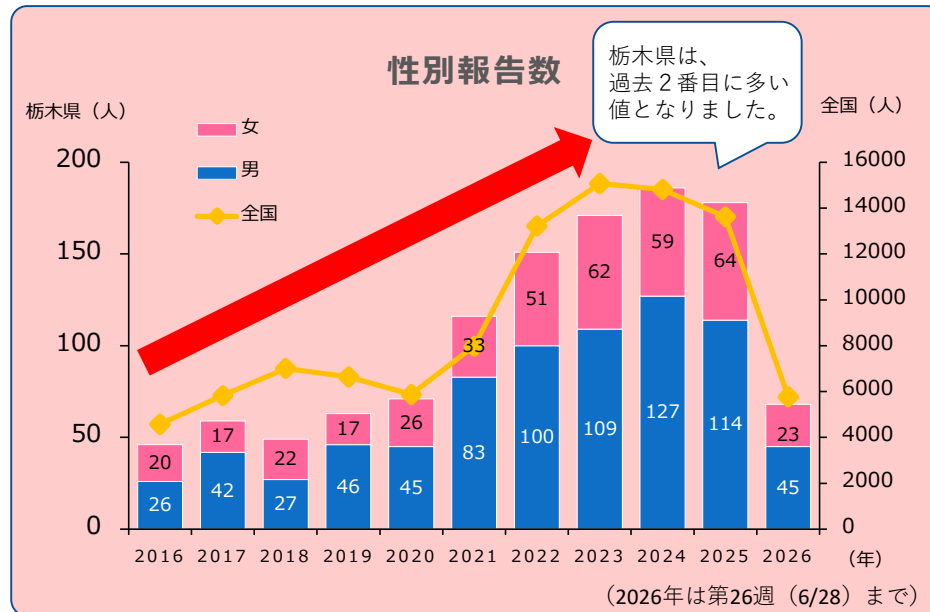


栃木県内 梅毒 発生状況

作成者：栃木県感染症情報センター

集計日：2026/8/12



・2025年の梅毒患者の報告数は、本県では178件と過去2番目に多い値であり、全国では過去3番目に多い値でした。梅毒患者の報告数は、2021年以降高い水準で推移しており、2026年第26週までの報告数は68件と前年同期(85件)に比べて減少したものの、過去4番目のペースとなっています。

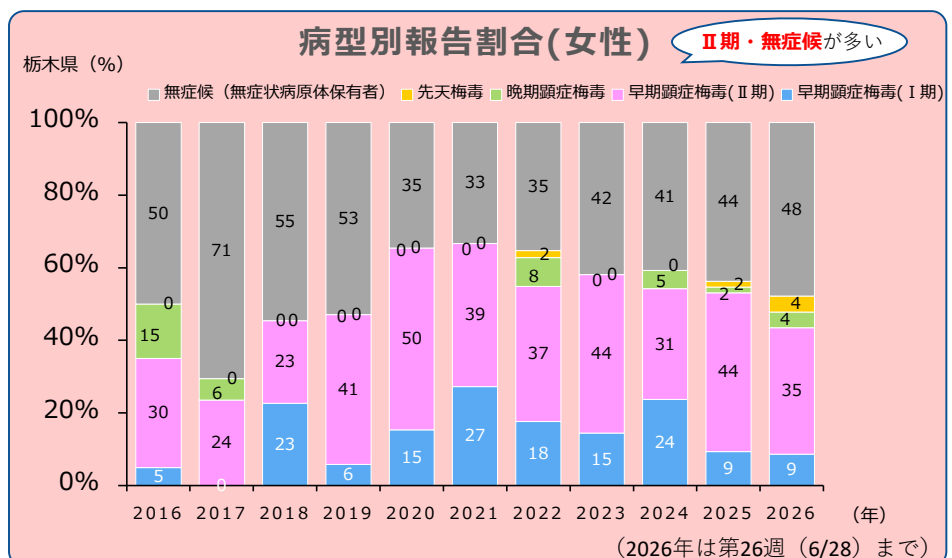
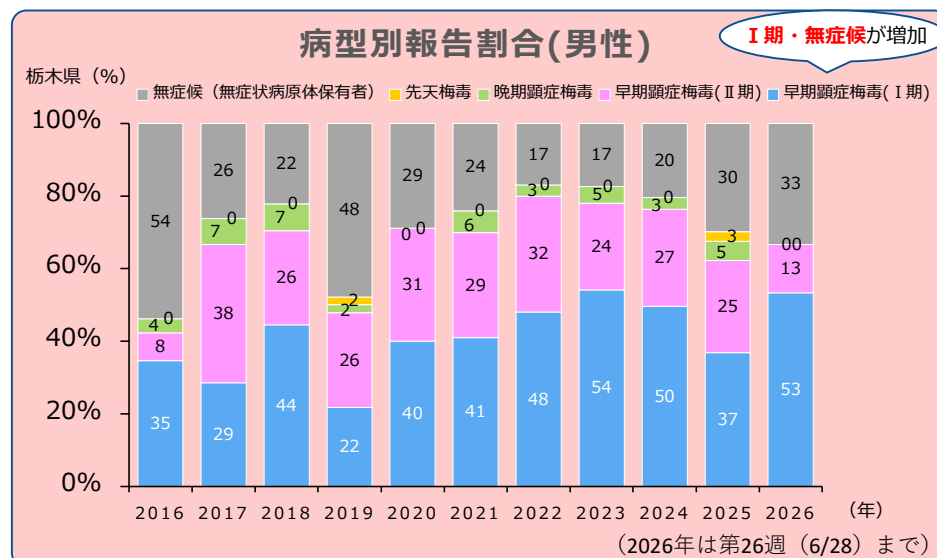
・病型別では、男性はⅠ期及び無症候の割合が増加し、早期に診断される症例が多くみられました。女性はⅡ期及び無症候の割合が多い状況です。また、昨年に引き続き**先天梅毒(母子感染)**の報告がありました(1件)。

・年代別では、男性は40代以上の中高年層で多い状況にあり、女性は20～40歳代の割合が多い状況です。

・推定感染経路は、男性、女性ともに異性間の性的接触の割合が多い状況です。

・推定感染地域は、栃木県内が最も多く、半数以上を占めています。

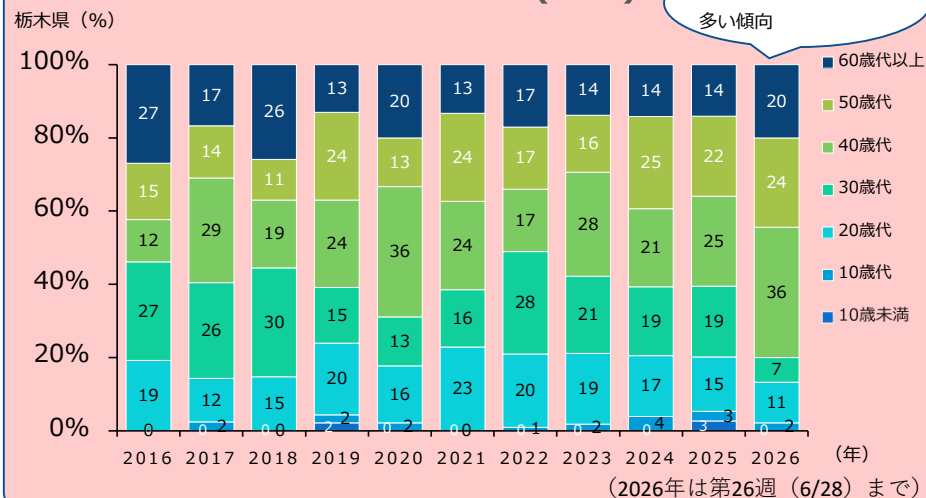
・2026年26週までに報告のあった患者のうち、性風俗産業の利用歴(直近6か月以内)が有る患者は、男性で23人(51.1%)、女性で0人でした。性風俗産業の従事歴(直近6か月以内)が有る患者は、男性で1人(2.2%)、女性で3人(13.0%)でした。



栃木県内 梅毒 発生状況

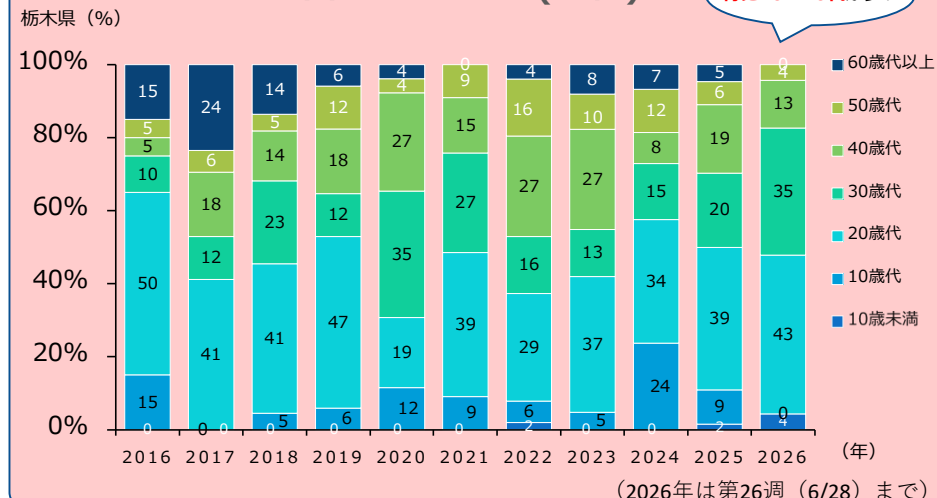
年代別報告割合(男性)

40代以上の中高年層で
多い傾向



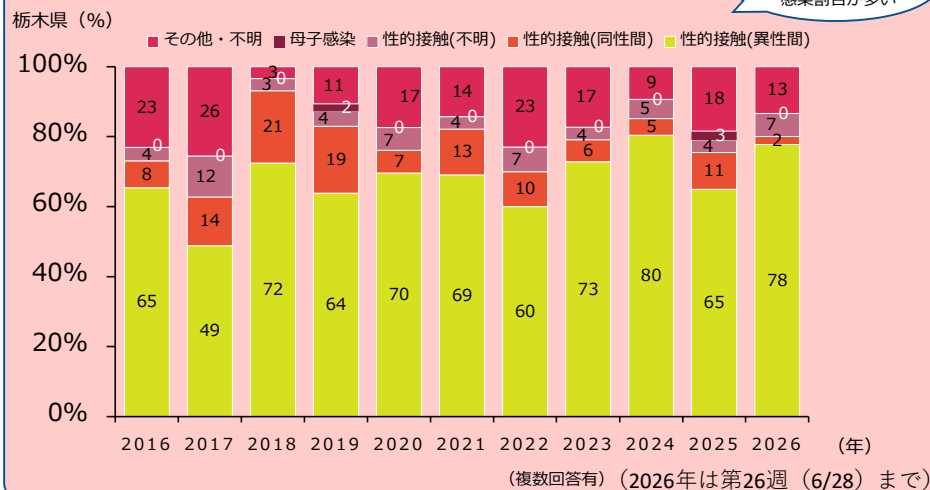
年代別報告割合(女性)

特に20~40代が多い



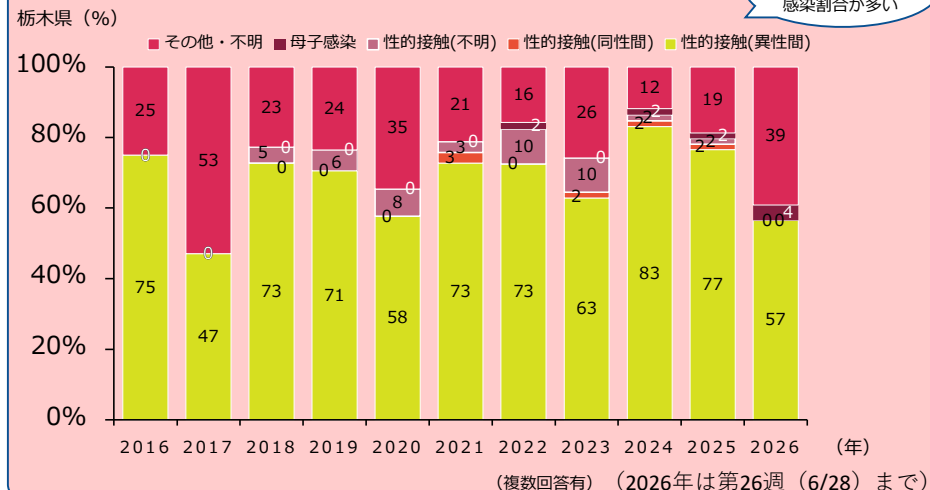
推定感染経路別報告割合(男性)

異性間による
感染割合が多い

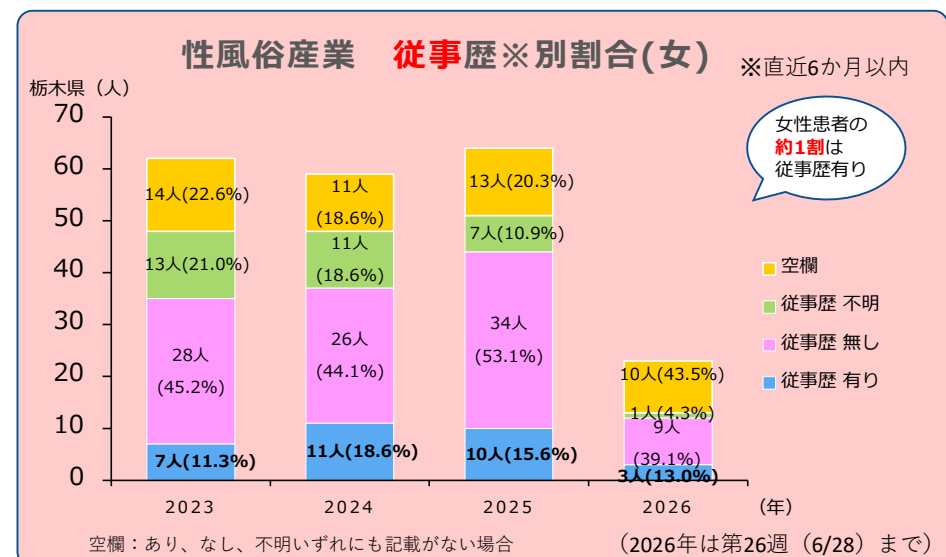
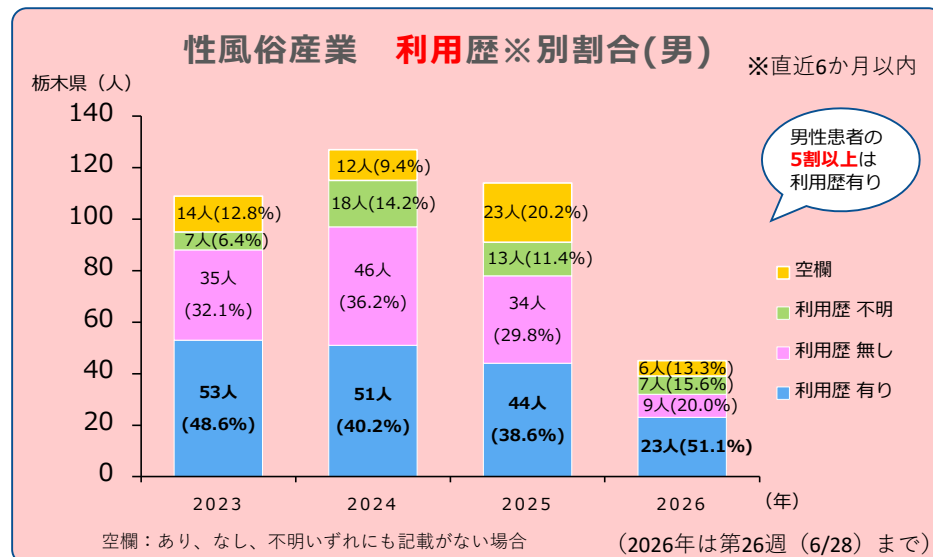
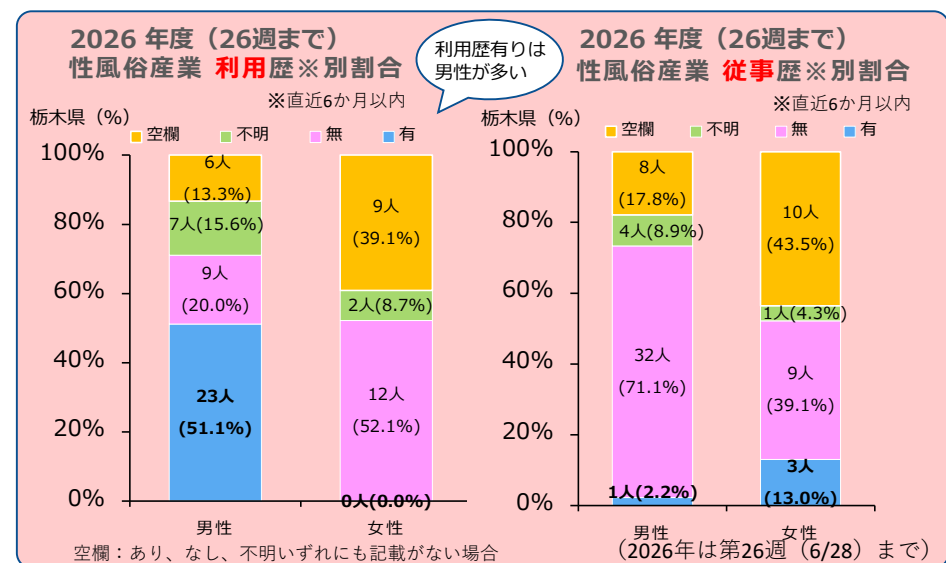
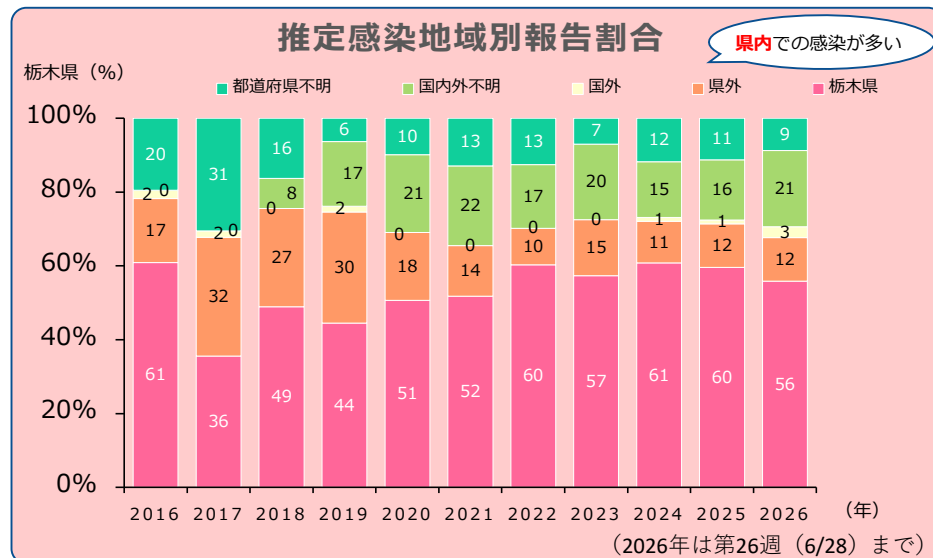


推定感染経路別報告割合(女性)

異性間による
感染割合が多い



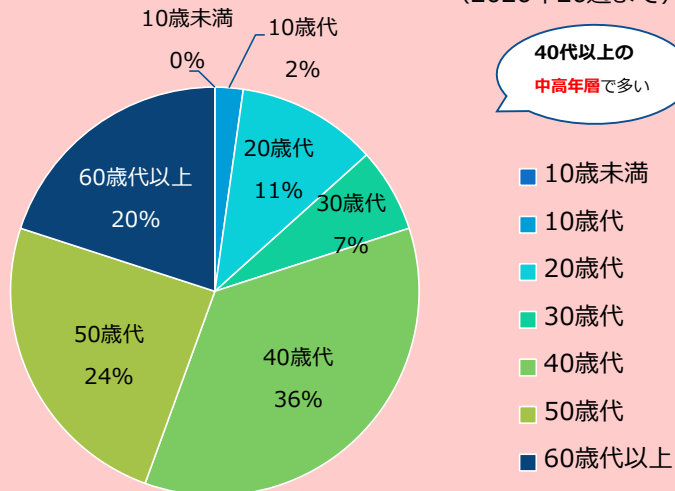
栃木県内 梅毒 発生状況



栃木県内 梅毒 発生状況

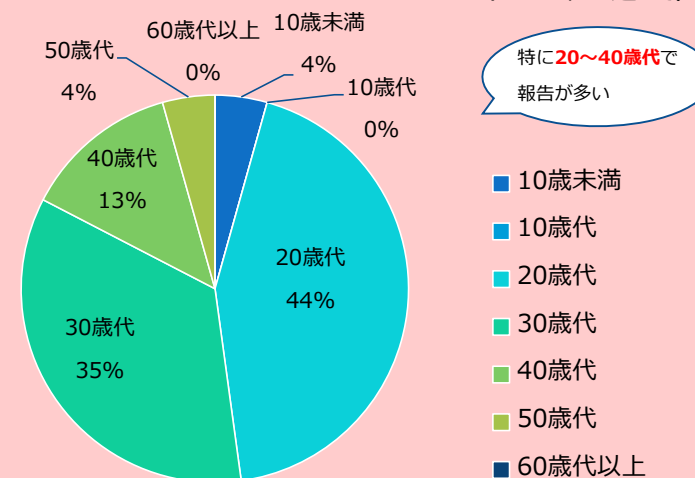
年代別報告割合(男性)

(2026年26週まで)



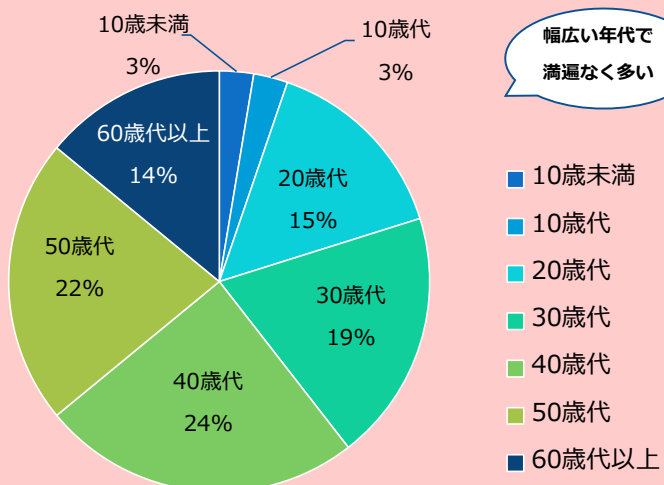
年代別報告割合(女性)

(2026年26週まで)



年代別報告割合(男性)

(2025年)



年代別報告割合(女性)

(2025年)

